

## 2020 三浦半島統一メーデー開催にあたり

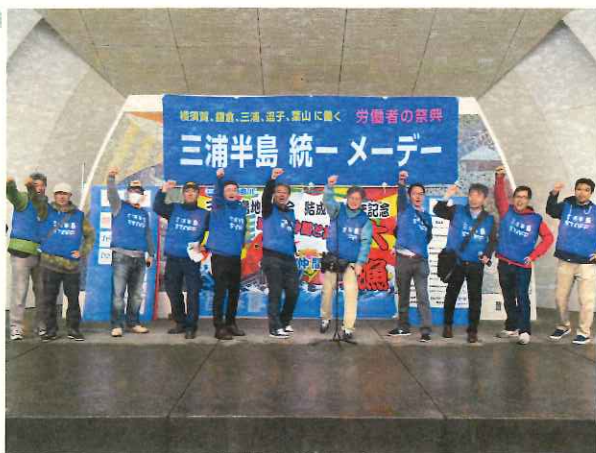
2020 三浦半島統一メーデー開催にあたり、挨拶させていただきます。

日頃より、三浦半島地域における様々な労働運動にご支援とご協力を頂いていることに対しまして厚く御礼申し上げます。「2020 三浦半島統一メーデー」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、参加者の安全と健康を守るとともに連合本部と連合神奈川の意向を踏まえ、集会形式ではなくインターネット形式に変更し開催することとなりました。楽しみにして頂いていた皆様と開催に向け準備をして頂いていた皆様には大変申し訳ありませんが、主旨ご理解賜りたくお願いいたします。

中止ではなく形式を変えての開催にした目的は、日本はもとより世界規模で新型コロナウイルスの影響が出ている現況下においても、メーデーの意義と我々働く者達の意見をしっかりと発信する必要があるという連合本部や連合神奈川の考えに対し、地域連合としても同調していかなければいけないと考えたからです。

今まさに、経済状況が悪化している現状において、解雇や雇止め、内定取り消しや休業などが発生しており、就労に対する不安感が日増しに大きくなってきています。今こそ働く者たちが結集し、一致団結して「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向け活動に取り組んでいかなければなりません。加えて、近年は度重なる甚大な災害により住民の生活は脅かされています。三浦半島地域においても被災されている方々がいます。私たちは、被災地における真の復興と再生に向け、被災者に寄り添いつつ、雇用と生活の再建に取り組んでいきます。

今年は開催形式が変更され、メーデーの意義を再確認する良い機会になったとも思っています。時代とともにメーデーの内容が変化してきていますが、この場が労働者の交流の場として意義あるものであったということも再認識することができました。新型コロナウイルスとの戦いに打ち勝ち、感染拡大防止を達成し、来年は笑顔で集えるメーデーが開催できることを祈念し、開催にあたっての挨拶とさせていただきます。



2019 三浦半島統一メーデー

2020年4月20日

2020 三浦半島統一メーデー

実行委員会

実行委員長 及川 政昭

